

言語文化教育研究学会 第2回年次大会 多文化共生と向き合う
「多文化共生」と多様性—教育に何ができるのか

多文化共生と教育

2016年3月13日（日）

群馬県立女子大学

地域日本語教育センター

ヤン・ジョンヨン

簡単な自己紹介

楊廷延（ヤン・ジョンヨン）です。
韓国人です。
ソウルから来ました。
日本に来て17年になります。
日本語学校で、日本語を勉強して、
大学・大学院に行きました。
いまは群馬県で働いています。
今日は「多文化共生と教育」の話をしに
こちらに来ました。

どうぞ、よろしくお願ひいたします。

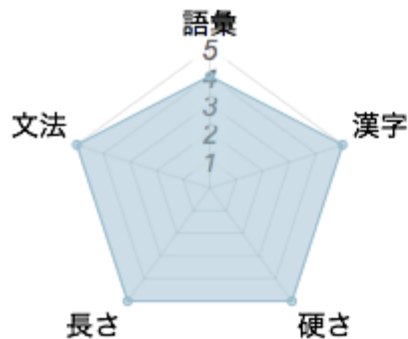
自己紹介文のやさ日チェッカー

韓国人です。
ソウルから来ました。
日本に来て17年になります。
日本語学校で、日本語を勉強して、
大学・大学院に行きました。
いまは群馬県で働いています。
今日は「多文化共生と教育」の話をしにこちらに来ました。
どうぞ、よろしく願いいたします。

診断結果

クリア

診断



76語です。総合判定 **A** **とてもやさしいです**

項目	評価	解説	対応
語彙	4	適切です。	初級語彙が90%以上95%未満です。
漢字	5	とてもやさしいです。	漢語の量が適切で、易しい漢字を含む語も多く易しいです。
硬さ	5	児童文学レベル	1文あたりの平均名詞数が6以内です。
長さ	5	とてもやさしいです。	全ての文が20語以内です。
文法	5	とてもやさしいです。	難しい文法は含まれていません。

シンポジウム2のお題

- (1) 現在の仕事
- (2) 仕事を通して「多文化教育と多様性」についてどう考えているか
- (3) 教育に何ができるか
- (4) どんな実践をしているか

「私」 + 「日本語」 + 「日本語教育」 + 「地域」

私の仕事は、

日本初！（？）

「大学の」「地域」「日本語教育」「センター」

- (1) 日本語教員養成
- (2) 県内在住の外国人に日本語学習機会を提供
- (3) 生活日本語の研究：教授法や教材開発
- (4) 関連機関との連携

*なんだかてんこ盛りですが……

学生と県民が一緒に学ぶ



外国人住民と学生が一緒に学ぶ



多文化共生とは

多くの

文化が

共に

生きること…！？

*・わかりそうでわからない…

多文化共生・教育とは何か

多くの

文化が

共に

生きることを

教育する…！？

*ますます、・わかりそうでわからない…

日本社会はすでに「多文化」化している

<多文化共生論>

*・学部1年次と県民に公開されている授業

*週1回（全15回）

まずは、日本社会の構成員は、
いわゆる「日本人」だけではない

日本在留外国人人数
223万2,189人

(2016年3月11日現在)

中国、韓国・朝鮮、フィリピン
ブラジル、ベトナム…

群馬県在留外国人人数
44,798人

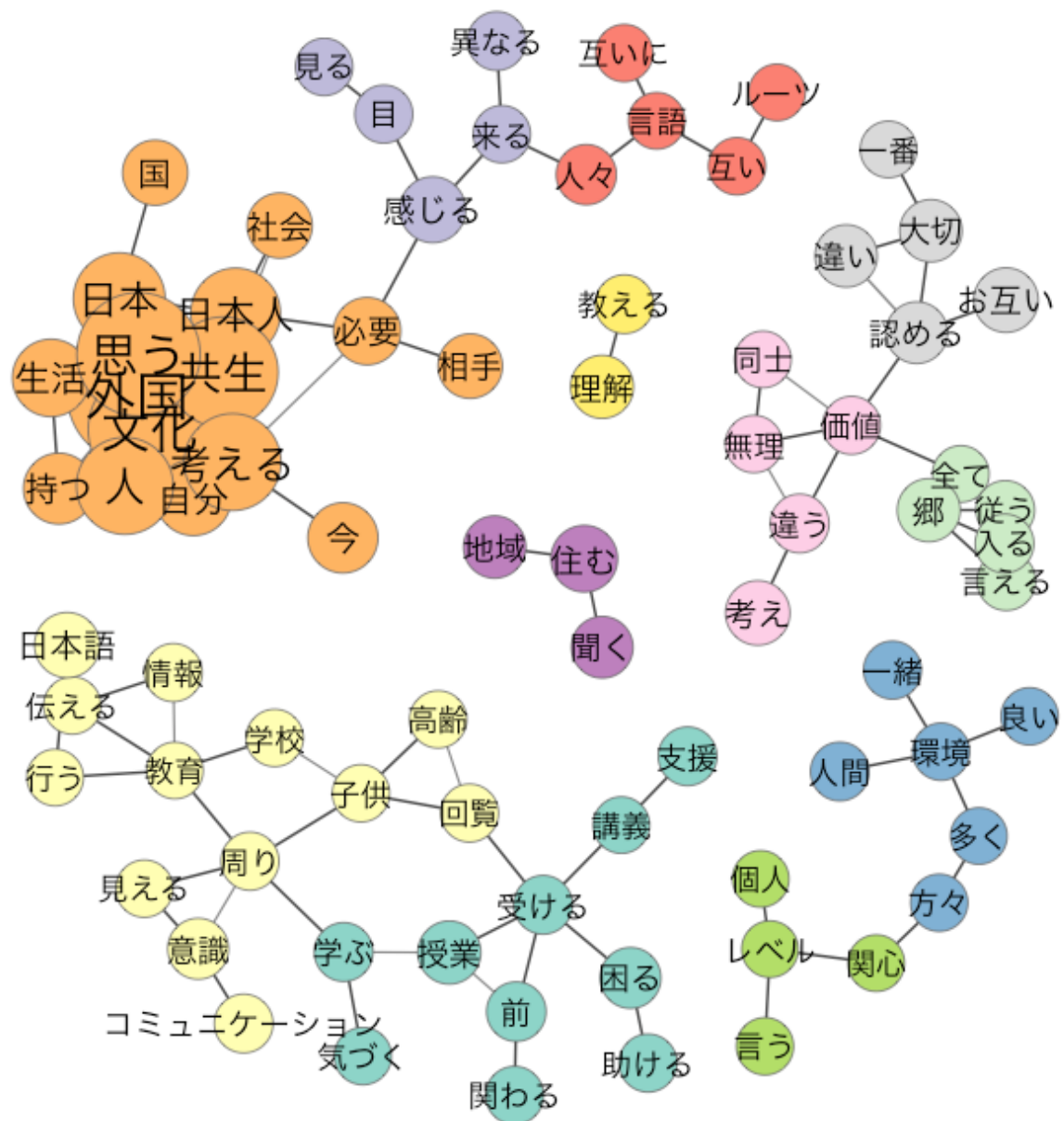
(2015年12月末現在)

ブラジル、中国、フィリピン、
ペルー、ベトナム…

いまの日本はどうやら「多文化共生」っぽい？

- ・外国人が増えたみたいだけど、困ってないかな…。なんか助けてあげなくては！
- ・日本のルールやマナーも知ってもらわないとね。
- ・英語やらないといけないのかな。
- ・色々な人がいるみたいだけど、私とは関係ない話かな。
- ・日本が日本じゃなくなるみたいでなんか嫌だな。

【自由記述】 私にとっての多文化共生



「多文化共生」は、

- ①互いの文化的違いを認め合うこと
- ②対等な関係を築こうとすること
- ③地域社会の一員として、その個性と能力を
発揮できること
- ④共に生きること

群馬県多文化共生推進指針(改訂版)から抜粋

「多文化」 + 「共生」

会場の皆さんに質問です。

みなさんは「**多文化共生**」してありますか。 ・

・例) 「元気してる？」

多文化共生力の自己評価

①互いの文化的ちがいを認め合っているか

Yes / No

多文化共生力の自己評価

② 対等な関係を築こうとしているか

Yes / No

多文化共生力の自己評価

③（地域社会の一員として）

その個性と能力を十分に発揮しているか

Yes / No

多文化共生力の自己評価

④ (地域社会の一員として)
共に生きているか

Yes / No

「多文化共生」は、

①互いの文化的違いを認め合うこと

②対等な関係を築こうとすること **態度・心構え**

③地域社会の一員として、その個性と能力を
発揮できること **個人の資質**

④共に生きること **誰が・誰と？**

私の思う「多文化共生」は

①互いの文化的違いを認め合うこと

②対等な関係を築こうとすること **態度・心構え**

③地域社会の一員として、その個性と能力を
発揮できること **個人の資質**

④共に生きること **私が私以外の人と**

多文化共生と多様性

－教育に何ができるのか－

<多文化>

私たちが生きている社会の実情を知ってもらおう
一人一人にできることを模索する機会を作る

<共生>

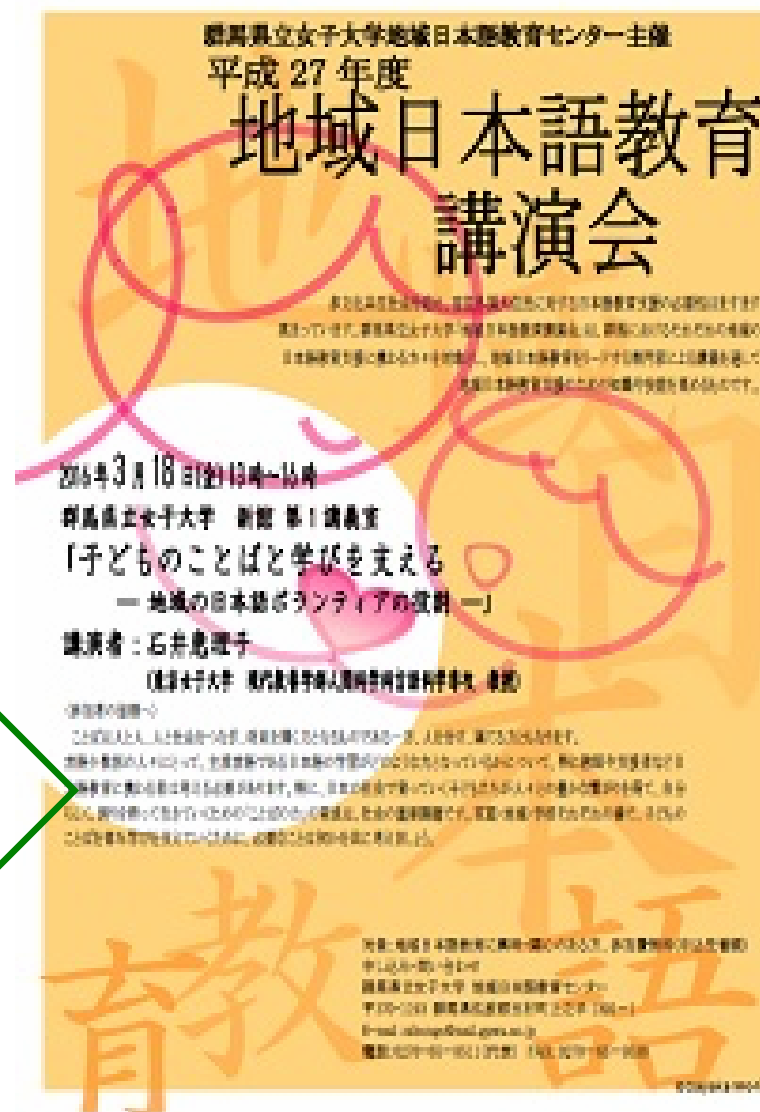
“共生しなさい”とは教えられない
当該社会で心地よく暮らすために
自分は何ができるかを考える機会を作る



＊・「多文化共生社会」は誰が実現する？

周知・情報提供・学習機会の提供…etc

群馬県立女子大学地域日本語教育センター



地域日本語教育講演会
講演者：石井恵理子
テーマ：子どものことばと学びを支える
－地域日本語ボランティアの役割－
場所：群馬県立女子大学
曜日：3月18日（金）
時間：13～16時

次は、

南浦さんにバトンタッチです。

「私たち／彼ら」の像の捉え直しと向き合う

－ 教員養成の場所から －

